



大和の国に生きづく 仮面芸能の系譜をたどる

神絵
藤原貞幹 信西古美術 東京藝術大学美術部
金春神作 二曲三神人形図 野上記念法政大学美術研究所

仮面のつながり

わが国は先史時代から仮面に親んできました。奈良においても、様々な弥生時代の仮面の遺品が出土しています。例えば、桜井市の纏向遺跡、大福遺跡出土の木製仮面。一説では農耕具を仮面に転用したものと伝わります。田原本町の唐古・鍵遺跡、清水風遺跡からは鳥の頭のかぶり物を身につけたシャーマンを描いた土器が発掘されています。弥生時代から仮面を用いた祭祀・芸能が行われたのでしょう。これら考古遺物から仮面の造形のつながり、仮面に込められた人々の祈りを想像します。



絵画土器 鳥頭的人物
清水風遺跡出土
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館

仮面芸能の源流 伎楽



復元伎楽装束 装束
東京国立博物館
協力：文化財活用センター

飛鳥時代、日本の仮面芸能の源流となる、伎楽が伝わりました。推古天皇と聖徳太子は、「桜井」で少年達に伎楽を練習させたといわれます。奈良時代には聖武天皇による東大寺大仏開眼供養会で伎楽が演じられるほど、全国の寺院で隆盛した芸能でした。伎楽は平安時代ごろから次第に演じられなくなり、奈良では細々と伝えられていたようです。現存する仮面、復元された装束から幻の芸能の様子を御覧いただけます。



宮内省蔵
復元伎楽装束 静姫王
奈良・実相寺

「聖」なる仮面芸能 雅楽・舞楽

都が平安京に移った後には、国内外各地の歌舞音楽は、宮廷中心にまとめられました。宮廷の祭祀、寺社の祭礼で演じられる雅楽の登場です。平安時代に、左方舞人として活躍していた伯氏が、大和にもどり、石清水八幡宮で右方舞を担った大神氏を引き入れて南都楽所を形成します。現在も奈良の社寺の祭礼では舞楽が奉納されており、南都には雅楽の歴史が刻み込まれています。



舞楽面 新島野
奈良・春日大社



藤原貞幹
信西古美術蔵本
東京藝術大学美術部

まつりといのりの仮面芸能

春日若宮おん祭に見られるように、多種多様な仮面が神事や仏事、祭礼を彩ります。かつて大和で最も盛大だった東大寺八幡宮の転害会、年始に邪鬼を払う追儺会など、奈良の社寺には儀礼に用いられた仮面が残されています。



熊面
奈良・手向山八幡宮



獅子頭
奈良・法隆寺

大和の猿楽

山中の伝統

大和にはかつて「翁」猿楽という神仏事に奉納される芸能が定着していました。室町時代に奈良中西部から観世座(結崎座)が出て、猿楽師による能の水準が引き上げられ、武家人気の高まりから、次第に猿楽師は活動の中心を能楽に移しました。一方で、奈良盆地を囲む山中では、社寺の祭礼を中心とし、当地の人々によって翁と能が演じ継がれたようです。奈良では現代まで翁の仮面芸能が受け継がれ、能狂言に用いられた仮面が残されています。



若女面
奈良・法山神社



大和と能楽 金春家と奈良

室町時代、猿楽の座であった観世座(結崎座)の観阿弥・世阿弥、金春座(円満井座)の金春禪竹は、それまでの能の歌舞や謡に工夫を凝らし、現在につながる能楽を大成します。能楽の大和四座のなかでも、金春流は古くから奈良に根ざし「翁」を奉納し、「能」を演じ続けている流儀です。幕末・明治の動乱期には、能楽大成期から伝来する能面、能装束、能楽資料が金春宗家の手から離れましたが、能楽を愛した奈良の人々の手を経て、現在も大切に受け継がれています。



金春札
野上記念法政大学美術研究所



金紅瑠璃段敷及御清様旗
東京国立博物館
Image:TNM Image Archives

特別展 会期中のイベント

特別対談

「まつりといのりの仮面芸能」
-雅楽・舞楽を中心に- (仮)

講師：岡本 彰夫氏 × 小野 真龍氏
日時：10月1日(日)15時～(14時30分開場・約90分)
場所：当館1F展示室(60席・事前申込制)



岡本 彰夫 (おかもと あきお)
奈良県立大学客員教授/前春日大社権宮司
昭和52年函館学院大学文学部神道科卒業後、春日大社に奉職、数々の古儀を復興。平成27年6月に春日大社(権宮司職)を退任。
著書に「大和古物散策」「大和古物漫遊」「大和古物拾遺」(以上、ベリカ社)、「神様にほめられる生き方」「道歌入門」(以上、幻冬舎)ほか。



小野 真龍 (おの しんりゅう)
浄土真宗本願寺派願成寺住職、京都大学博士(文学)。
宗教学を修めて天王寺舞楽の伝承事業にも携わる。天王寺楽所雅楽会副理事長・天王寺舞楽協会常任理事・関西大学客員教授
主著「雅楽のコスモロジー」(法蔵館)、「ハイデッガー研究」(京都大学学術出版会)、「雅楽会、相愛大学、西本願寺神で雅楽実技を指導。

特別公演

「奈良に受け継がれる仮面芸能」
-奈良豆比古神社翁舞-

演者：奈良豆比古神社翁舞保存会
日時：10月29日(日)14時～(13時30分開場・約60分)
場所：当館1F展示室(60席・事前申込制・途中入退場不可)



奈良豆比古神社
翁舞保存会
(ならずひこじんじょ おきなまいほぞんかい)

奈良市奈良阪町に所在する奈良豆比古神社では、毎年10月8日の宵宮祭りに古式な翁舞(重要無形民俗文化財)が奉納される。奈良豆比古神社翁舞保存会は神社への奉納を勤め、また、翁舞の保存と後継者の育成に努め、県内外の芸能イベントに数多く出演している。

当館学芸員による
ギャラリートーク

日時：10月7日(土)・
11月11日(土)
14時～ 展示室(予定)
※上記イベントへの参加には
当日の観覧券が必要です。